

# まちづくりとデザインコンセプトの方向性について

平成20年11月18日

# 都心部まちづくりの方向性

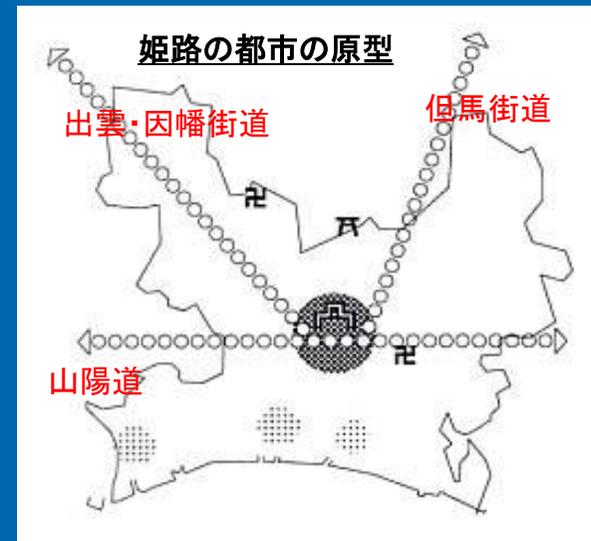
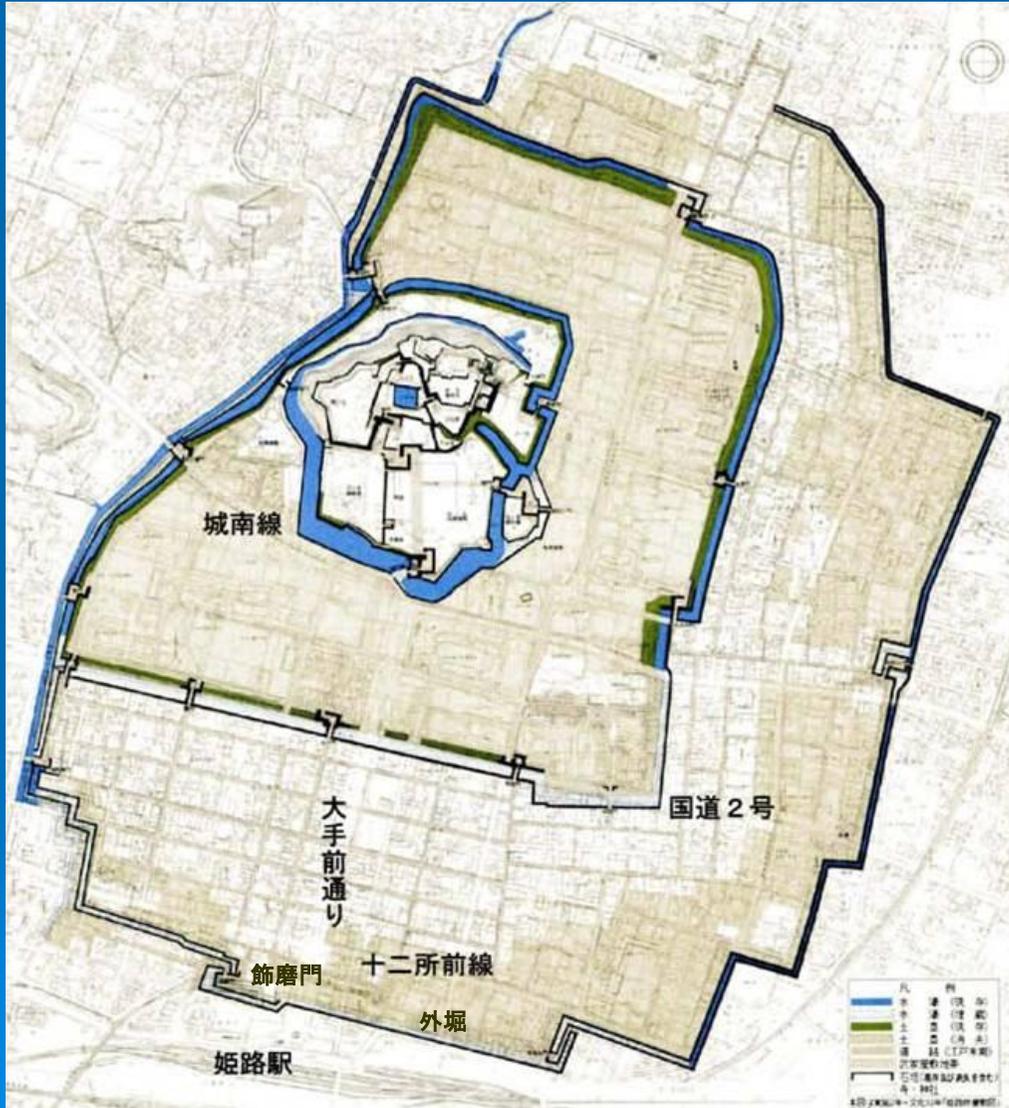
～上位計画・既定計画の位置づけ～



# ■ 姫路の広域的な立地

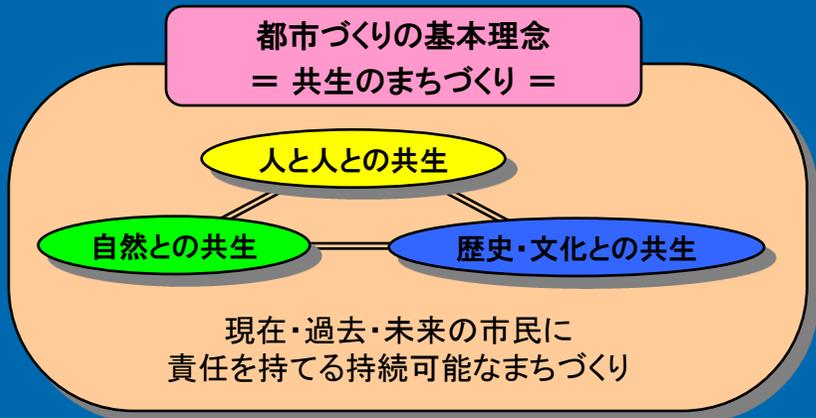
- ・播磨地方の中心都市
- ・戦国時代～江戸時代の戦略的拠点
- ・山陽道、出雲・因幡街道、但馬街道の結節点・交通の要衝

姫路城跡(城郭図)

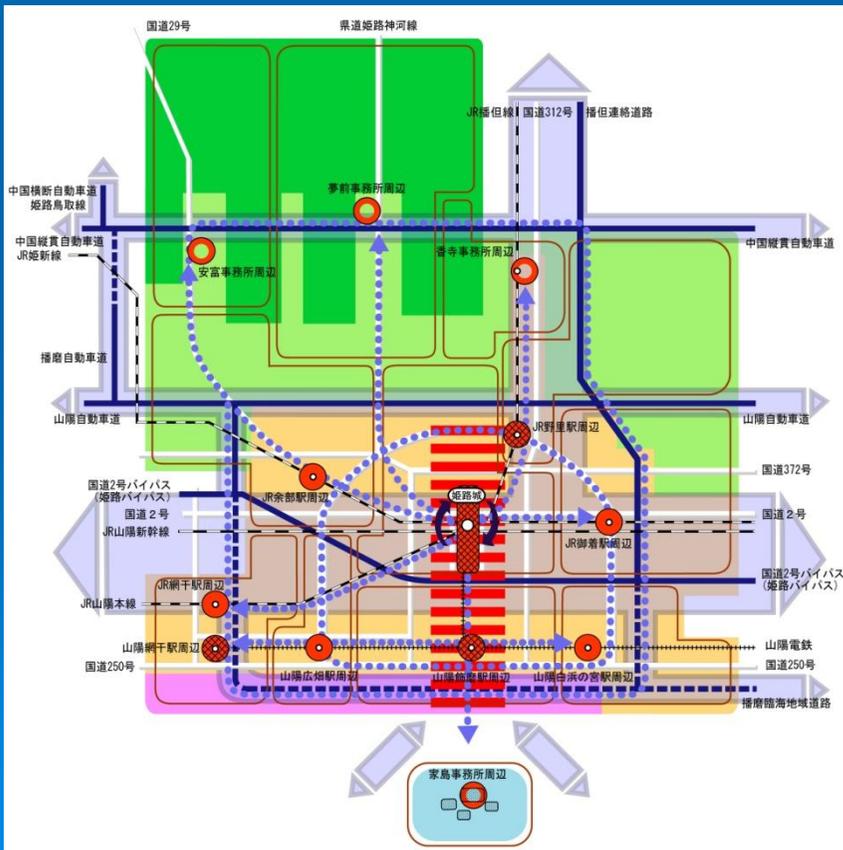


現在の市街地(航空写真)と城郭との位置関係





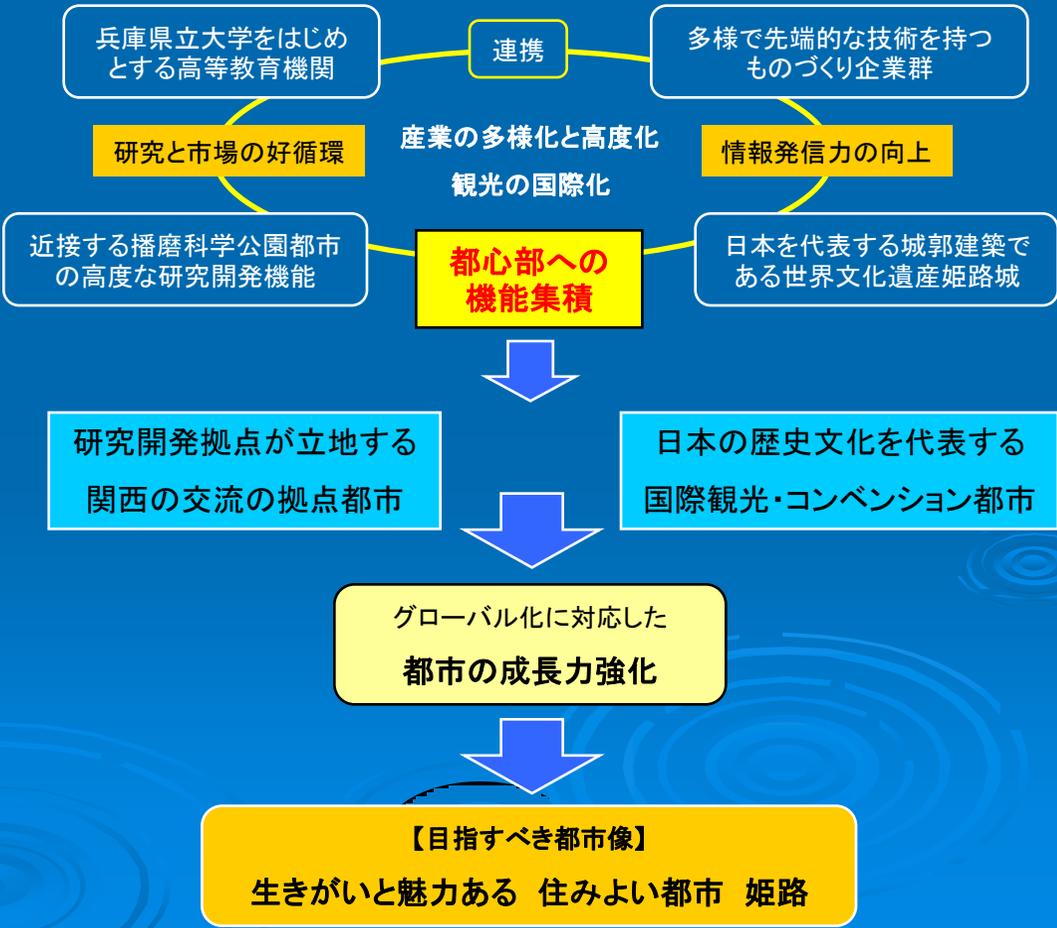
**多核連携型都市構造**



姫路スタイル・コンパクトシティ  
= 効率的で効果的な都市経営の考え方 =



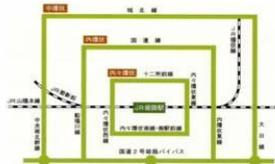
姫路スタイル・グローバルな視点に立った都市づくり  
= 本市特有の優位性を活かした産業・観光政策 =



●目標:歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生

各ゾーンのまちづくりの方向

対象区域とゾーン



都心部全体にかかわる事項

- 人と環境にやさしいまちづくり
- 快適な交通環境づくり
- 地下空間の公共的利用

姫路城を中心とするゾーン  
—市民の誇りとアイデンティティ—

- 世界に誇る遺産の保全と継承
- 城の景観保全と歴史的な雰囲気づくり
- 歴史・伝統・文化を活かした国際観光都市づくり
- もてなしの心あふれるまちづくり



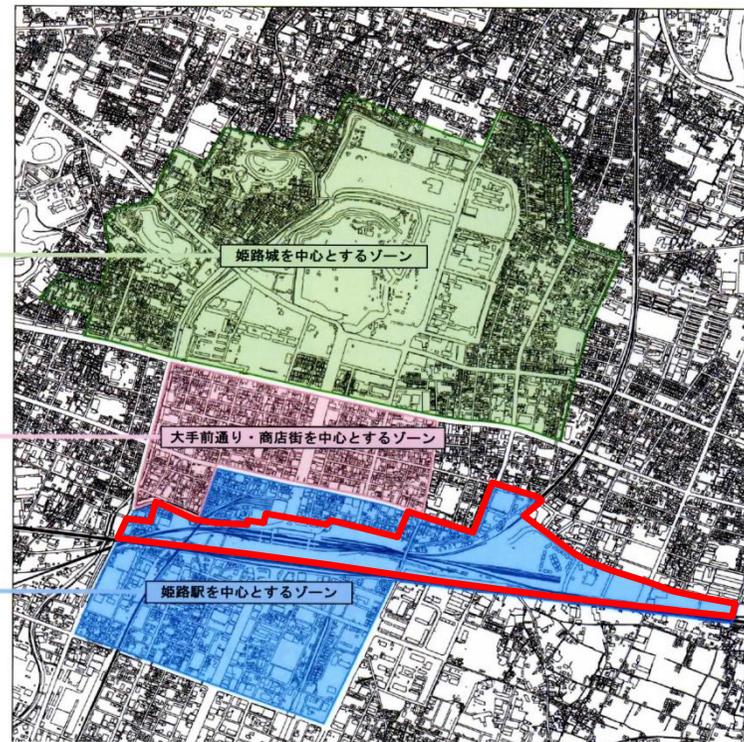
大手前通り・商店街を中心とするゾーン  
—楽しみと回遊—

- 感動と楽しさあふれる場づくり
- 人が集い、活気あふれる賑わいの場づくり
- 城下町・姫路の再生と都心回遊の場づくり
- 都心居住の推進による生活の場づくり

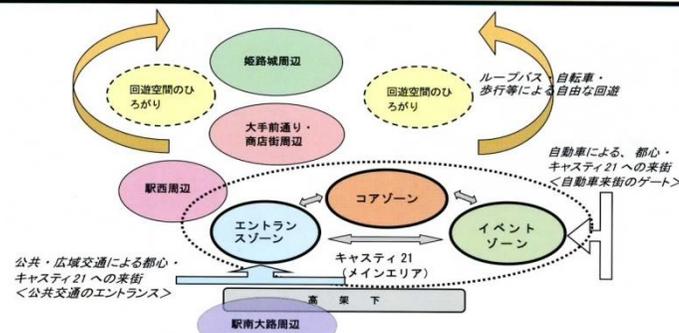


姫路駅を中心とするゾーン  
—出会いと交流—

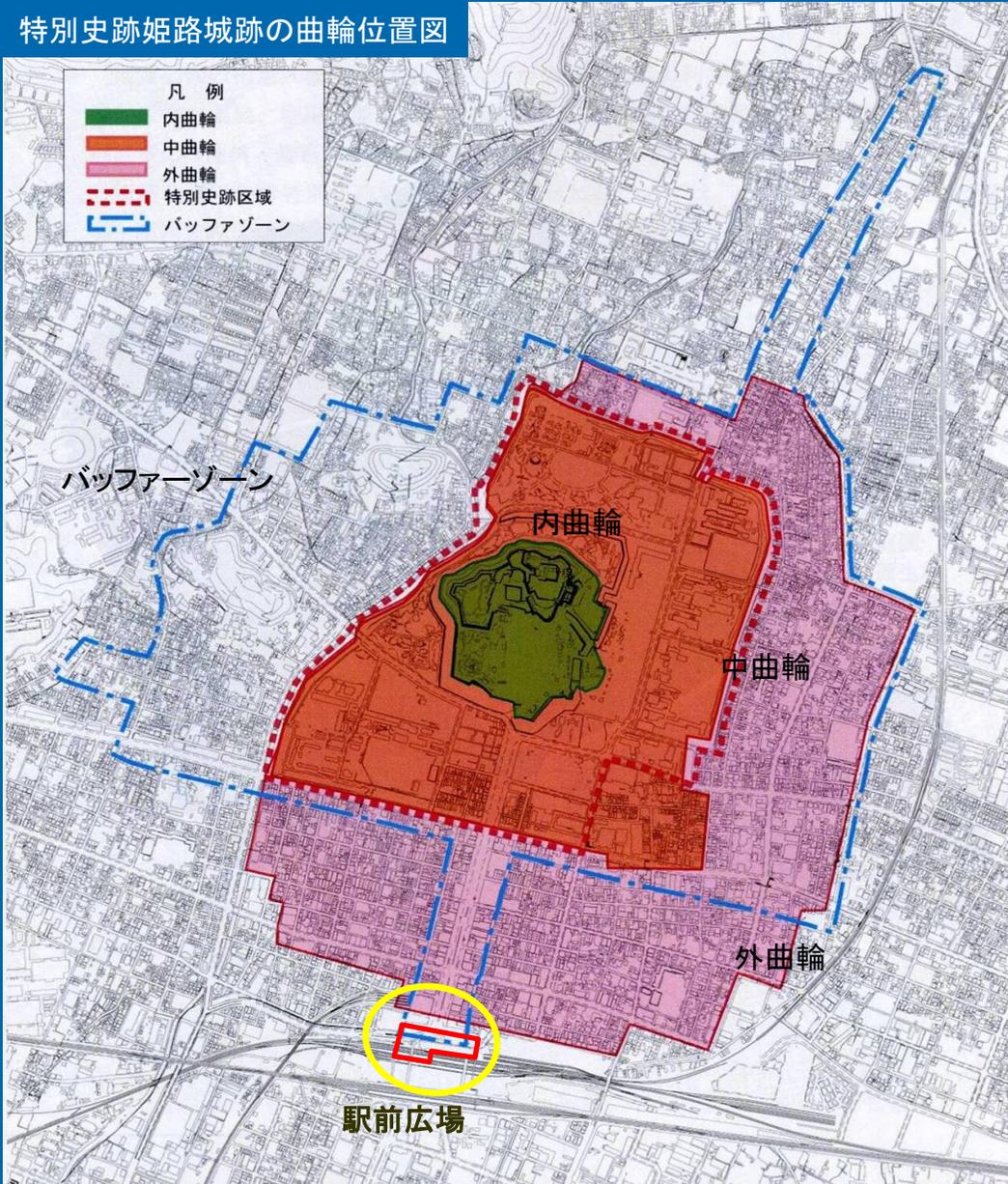
- 時代をリードする魅力あふれる商業・業務地づくり
- 人・もの・情報の交流の空間づくり
- 播磨の中核都市にふさわしい場づくり
- もてなしの都市・姫路の拠点づくり
- 人にやさしい交通環境づくり



都心部の連携イメージ



特別史跡姫路城跡の曲輪位置図

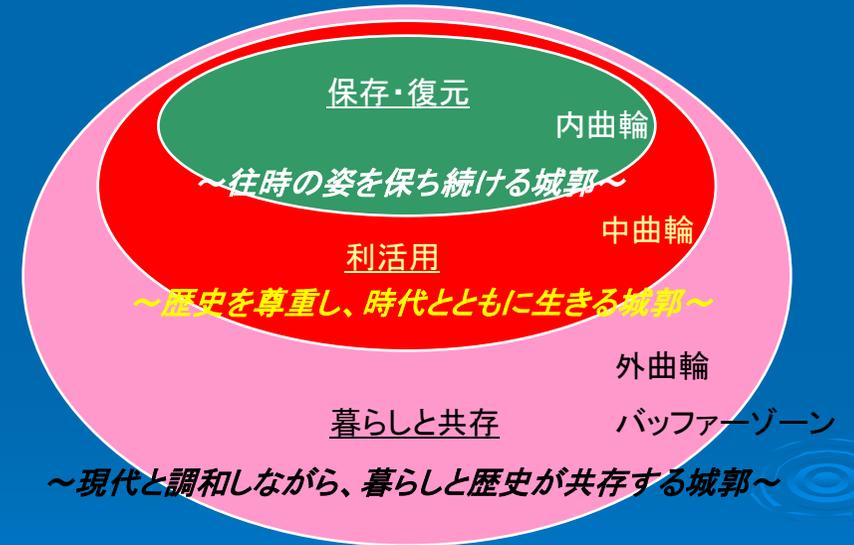


### 世界文化遺産(平成5年登録)

特別史跡姫路城跡107haが「コアゾーン(核心地域)」、外曲輪の一部および旧野里街道や西国街道沿いなどを含めた143haが「バッファゾーン(緩衝地帯)」として登録。

※バッファゾーン(緩衝地帯)

世界文化遺産の直接指定対象として厳格に保護される核心地域と調和のとれた景観形成を図ることが求められる地域。



JR姫路駅



## 基本目標

「歴史に生まれ、時と空間のおりなす美しいまち」

## 基本方針

- (1) 姫路城をシンボルとした景観形成
- (2) 姫路城と調和した景観形成
- (3) 歴史・文化と自然を生かした景観形成
- (4) 市民と行政の参画と協働による景観形成
- (5) 観光・商業など経済の活性化につながる景観形成



## 景観形成計画「姫路駅前地区(駅前景観形成地区)」

### ～景観形成の基本方針及び方策～

本市の風格とブランドを表現しつつ、市民・観光客の交通結節点として、憩いや楽しさ、もてなしを演出するとともに、姫路城との調和に配慮し、播磨の中核都市の玄関口に相応しい魅力ある景観形成を図る。

### ～基本方向～

- ① 姫路市の風格と都市ブランドの表現
- ② 駅前としての憩いや楽しさ、もてなしの演出
- ③ 大手前通り・姫路城へのゲート空間の創出
- ④ 姫路城との調和と駅から城への眺望の確保

良好な景観の形成に関する方針

◆目標

- ①世界に誇れる「シンボル景観」づくり
- ②愛着あふれる「わがまち景観」づくり
- ③多様な主体が参画・協働する「景観まちづくり」

◆基本的方向

- ①姫路のまちの顔を創る
- ②姫路の伝統と風土を守る
- ③快適で魅力的な景観を育てる
- ④参画と協働の景観づくりに取り組む

◆景観類型別方針(都心部関係)

●都市景観核

⇒周辺市街地と一体となった  
姫路城景観の保全・活用を図る。

●都市軸(シンボル道路)

⇒植栽による豊かな緑とデザインされた沿道建築物  
等により、連続性と統一感のある景観を形成し、  
本市の顔となる風格ある都市空間を創出する。

⇒本市の都市軸として、

風格と調和の中にも、にぎわい、親しみ、  
うるおいが感じられる都市空間を創出する。

都市景観形成地区

地区名	大手前通り地区
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく風格ある街並みの形成</li> <li>・にぎわい、親しみ、うるおいのある都市空間の形成</li> </ul>
景観形成基準 (概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の高さは35m以下とする。</li> <li>・給水管、ダクト等は、街壁面に露出させない。</li> <li>・屋外階段は大手前通りに面して設置しない。</li> <li>・大手前通りに面して駐車場の入り口を設けない</li> <li>・基調となる色は姫路城の色調と調査のとれた明るい色調とする。等</li> </ul>



### 姫路市総合計画

- ◆共生のまちづくり(自然、人と人、歴史・文化)
- ◆コンパクトシティ(交通結節機能の強化)
- ◆グローバル化への対応(産業、観光、学術の連携)

### 姫路市都心部まちづくり構想

- ◆3つのゾーンの役割分担と連携
- ◆都心部の再生、集客力の強化、新たな魅力の創出
- ◆もてなしの都市、人にやさしい交通環境

### 特別史跡姫路城跡整備基本構想、姫路市景観計画 等

- ◆現代と調和し、暮らしと歴史との共存
- ◆城をシンボルとした景観形成
- ◆ゲート空間の創出、城への眺望確保
- ◆美しく風格ある街並み、賑わいとうるおいの都市空間

# デザインコンセプトの方向性

～検討の進め方と留意事項～



## 上位計画等におけるキャスティ21計画地区の位置づけ

●姫路市総合計画

●姫路市景観計画

●姫路市都心部まちづくり構想

●特別史跡姫路城跡整備基本構想

等

### キャスティ21計画地の整備と開発の方針

■まちづくりの基本的な考え方は？

■どのような土地利用を目指すのか？

■都市空間はどんなイメージとするのか？

■公共施設や民間施設のデザインは？

エントランスゾーンは？

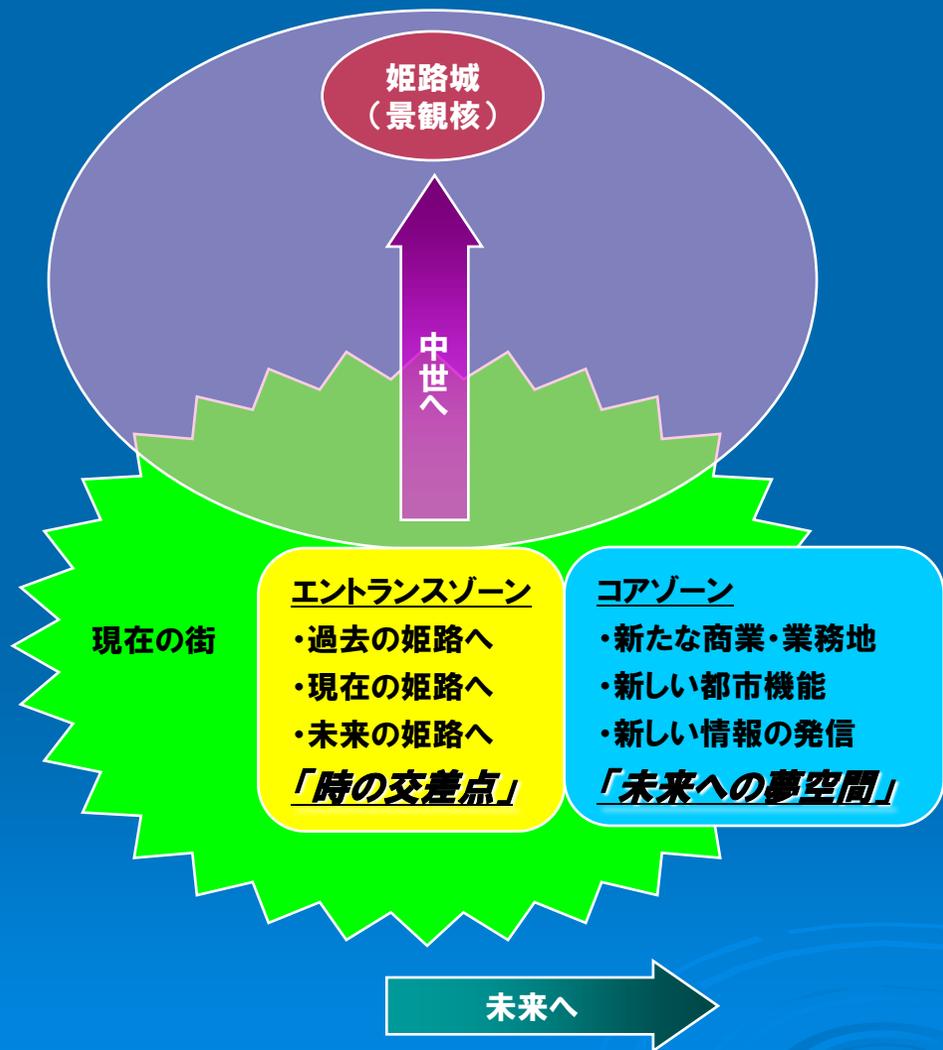
コアゾーンは？

姫路駅北駅前広場デザインコンセプト

新駅ビルデザイン

民間施設デザイン

## 時間イメージ



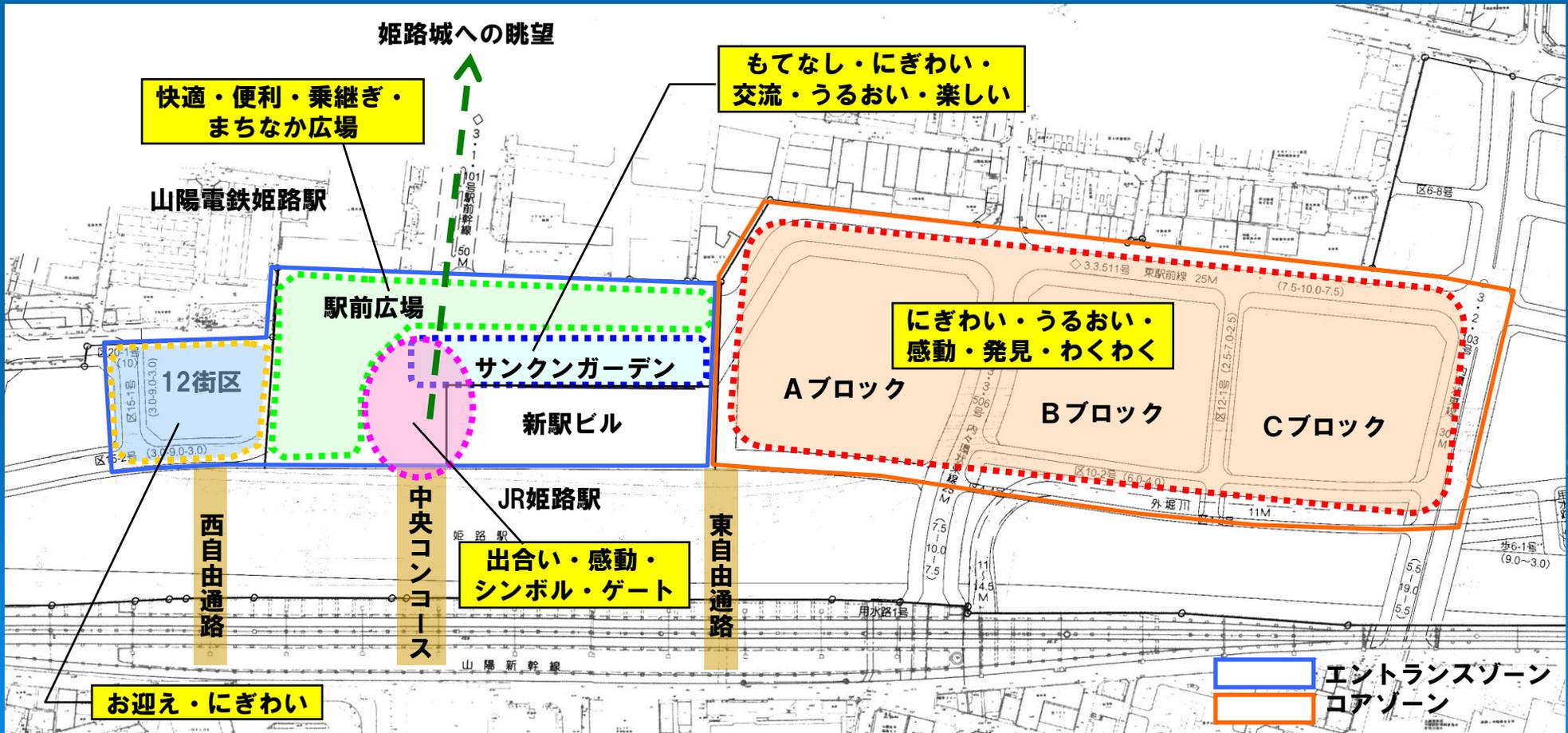
## 開発イメージ



## ■都市デザインの検討を進める際の留意事項

- その場所について、
- ◆地理的な位置や自然環境はどうか
  - ◆歴史的な背景や風俗文化はどのようなものが
  - ◆まちづくりにおいて期待されている役割は
  - ◆それぞれの施設が果たすべき役割は何か
- 等

## ■キャストィ21の都市空間イメージ(キーワード)



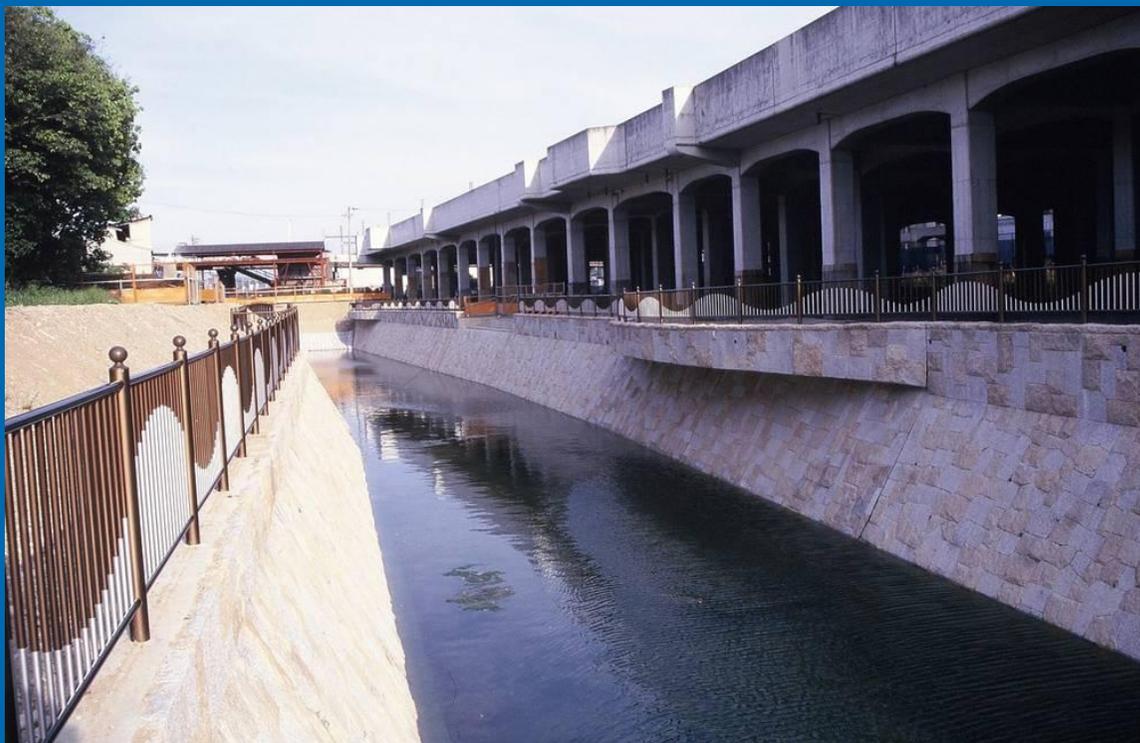
(参 考)

先行施設のデザインと主要なビューポイント

## ■先行して整備予定の施設デザイン(1)

### ◆外堀川の護岸

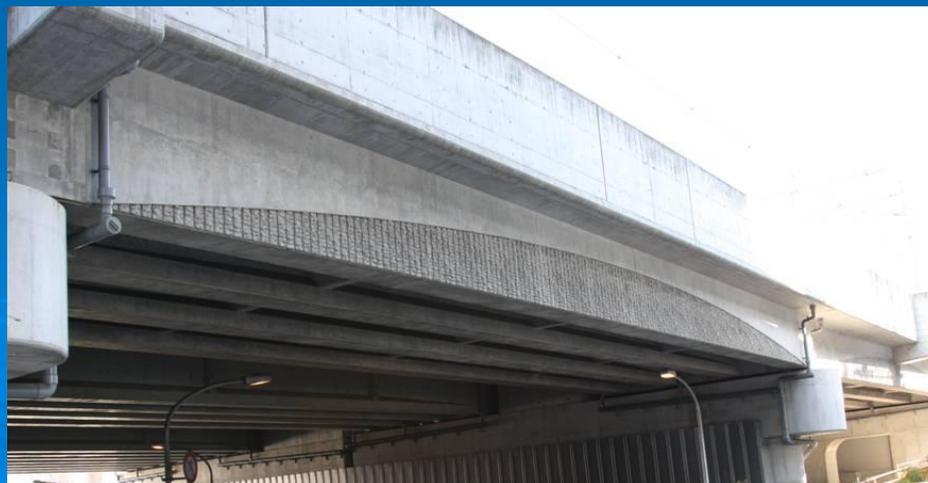
◆空間・景観テーマ:「お城と水と石垣」



### ◆高架橋の表面デザイン

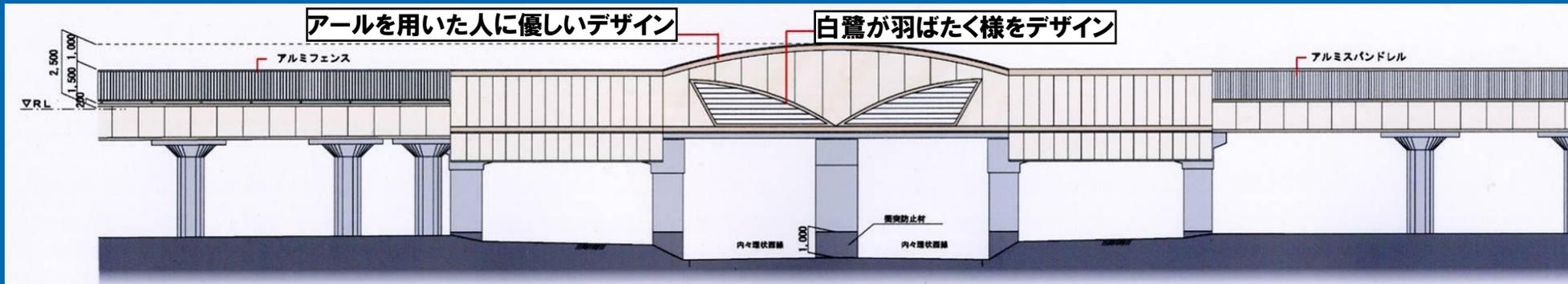
◆やわらかさをイメージした曲線的なデザイン

◆姫路城の格子をモチーフとした格子型の化粧型枠による施工



## ■先行して整備予定の施設デザイン(2)

### ◆山陽電鉄と内々環状西線交差部



### ◆東西自由通路

- ◆姫路城(白鷺城)をイメージした白(東)と黒(西)の色づかい
- ◆暖かみのある曲線を用い、やさらかさ、やさしさを表現したデザイン



西自由通路



東自由通路









